

第19回

「若山牧水青春短歌大賞」

短歌募集

「けふもまたこころの鉦をうち鳴らし打ち鳴らしつつあくがれて行く」 牧水（別離）
「幾山河こえさりゆかば寂しさのはてなむ國ぞけふも旅ゆく」 牧水（別離）

若山牧水は、明治二十九年（一八九六年）十一歳のときに延岡高等小学校に入學し、旧制延岡中学校（現宮崎県立延岡高等学校）を卒業するまでの多感な青春時代を延岡で過ごし、この間に短歌を詠むようになりました。

このことを記念して、延岡市では「若山牧水青春短歌大賞」を創設し、広く全国から短歌を募集します。

牧水は、旅と「あくがれ」の歌人であったといわれています。まだ見ぬ山河にあこがれ、生涯旅することをやめず、酒を愛し、自然を愛し、家族を愛した歌人牧水。

若い情熱の感じるままに、幼くも純真な目線で、あるいは、人生の年輪を重ねた含蓄のある言葉であなただも短歌を詠んでみませんか？

第十八回「若山牧水青春短歌大賞」受賞作品

応募総数（二万二七四六首）

【小学生・中学生部門】 宮崎県宮崎市 宮崎大学教育学部附属小学校 五年 赤木 孝陽さんの作品
東京の路線覚えて乗り継ぐとどんなことでもできる気がした

【高校生部門】 宮崎県宮崎市 宮崎県立宮崎工業高等学校定時制一年 伊豆本 唯斗さんの作品
一時間に七十食のカレーライス作って僕は学校へ行く

【大学生等・一般部門】 宮城県多賀城市 五十歳 渋谷 史恵さんの作品
山鳩と山鳩地味な二羽なれど一羽が飛べば一羽も飛んで

応募締め切り 平成30年9月30日（日） 当日消印有効

宮崎県延岡市教育委員会文化課
延岡市公式HP/学びの情報/文化活動

ハガキでの応募については、こちらをご利用下さい。

郵便はがき

882-0822



62円切手を
お貼りください

宮崎県延岡市南町二丁目一番地八
延岡市教育委員会文化課
内藤記念館内

「若山牧水青春短歌大賞」
短歌募集係

